

京城日報

(刊休隔中)

九月二十七日夕刊 (明日刊休)

鋼鐵罷業擴大

米國鋼鐵罷業已達二十餘州且其參加者三十二萬七千人各地死傷甚多損失甚巨

財政補救策協議

支那財政部與各國銀行團已就補救策達成協議

唐紹儀會見拒絕

上海唐紹儀氏對二十一日唐紹儀氏會見拒絕

唐總代表在電命

唐紹儀氏代表在電命

勞働代表物色

政府代表物色

埃國委員來支說

埃國委員來支說

航空法制定

航空法制定

獨潛水艦

獨潛水艦

廻航期

廻航期

備料區々

備料區々

早穀地の水稲

早穀地の水稲

煙草專賣奈何

煙草專賣奈何

京城住宅不足

京城住宅不足

朝鮮電報進捗

朝鮮電報進捗

平壤兵器檢査

平壤兵器檢査

鮮銀會議終了

鮮銀會議終了

師團長視察

師團長視察

其の日

其の日

皮革値上廣告

皮革値上廣告

北村皮革直輸入店

北村皮革直輸入店

Table with multiple columns and rows, likely a financial or market data table.



株式買相互會

一般經濟界に空前の統計數字を示すの秋、頃來戰後境界氣分なりし諸株が一齊に昇騰の氣勢を以て一大熱況の前途を呈す、茲に本會は總金分配の名目に苦しみ猶多しと以て一舉に其の大成を期せむとす、此好機を逃す勿れ

申込期間十月五日迄 加入金一口百圓 日本債券會社内
大東京市北區西門町四丁目四番地 株式買相互會 謹啓

會則說明書贈呈

皮革値上廣告

皮革類は去る六月頃より歐米各國共に騰貴を重ねるのみにならず或物は當分値段に不拘注文引受難き旨申來り候にキツト及底革の如きは神戶横濱の保稅品は大部分逆輸出致候條の状況にて歐米の値段は五割乃至七割の昂騰に有之候幸ひ弊店は在來の手持品潤澤なりと認むるに有之候幸ひ杜絶に依り最近迄殆ど影響を認めざりしも急々需用期に向ひ供給難を報ずるに隨ひ

北村皮革直輸入店

次は弊店儀は迄電話一八四六番に有之候處今回七番電話を新設致し舊設を廢止する事に相成候間來北村皮革直輸入店は七番御記憶被下度此段御披露申上候

京城南大門通壹丁目 長電話七番



國境橫斷旅行
(五)

鍾城から惠鑪へ

潜水艦來る

零五號釜山に入
閨の底に蹲まる怪物
官民熱心に歡迎

北支モンストレーションの日々(前掲)の中に二十三年三月漢口一帶は霧に覆われ、第一航路は舊獨逸潜水艦隊に占據せられて渡く。

雲五號艦の上の乗組員

(影撮夜日六十二)



軍海
長
飛
行

怪物と望見して
 出る間、矢次第に雲松井田開闢
 江戸の橋長、釜山府代若手代、
 船頭は任一行に乗せて、松平
 千鶴屋は關の海士を導うで、
 敵の軍、五萬餘人が艦に向つて

吳から塀へ
 三機成功す
 第一二兩合戦の海兵
 三隻は二十六日朝六時吳を出
 撃しに向ひ、同九時五十分、塀
 着したり（東京特電）

終熄近しうそくちか

急に接合し、つたつたやがでラン
 ンは各五腕の鉤船に著いた鉤の
 如く艦には
 艦首と艦尾に大
 ざい燈光が輝い
 て居たが中兵の司令官の邊は據
 略し甲板上には艀艇乗員がう
 ち手を待つて居た。闇中、
 水艇を見ることは一種苦勞の現
 象を感じずには居られない。

二十七日師團司令部に達し
 無難に備へば直繼で連隊
 ける旅別拉車者は初發以來
 實部隊二千名にして止の
 思く歐洲里のみに三名ニ
 發せる後餘一名のみにして止の
 發ける後餘一種は完全に終
 たり又西伯利亞地方に於ける

廣防衛種の爲め

其後勒忠無

た
けきらう
なや
大連に向ふべし東京特

激浪に悩まされた
それで入港が遅れた
潜水運動は遅らない
本内司令少佐の話
司令本内少佐は上陸の際シ
チにて作戦の報告に遅れ
十五日の午前十時上陸の爲
に遅れた

温厚な新知事

然し酒にかけては却々の豪傑
松永舊知事の新知事しんち
京畿きんぎ省知事下藤原氏に就
松永舊知事は語る
多事多忙な京畿の下藤原氏に
古く入るので朝政の事情に精
こつた。常に總督々人である

乗つて見るの記

[illegible]

仁川にも来る

船督との交渉盡力で
 來月七八日頃入港か
 利根水陸仁川に越し、仁川に於て患者發生せりとの事に
 海軍省より總督府宛て、總督府の消毒ありしと總督府
 は再三、船方に就て、海軍省と交渉し虎患患者仁川に於
 生じたるもの之非ざるを當面より通報、近水野政務廳、東京
 軍艦、海軍省より書状に要緊なる一筆、新聞より、福岡より
 川へ廻航すべき事決定、兎に角仁川來航は實現する事とな
 るも、同日に就ては、船費、船港と打合の上、確定の筈ながら、
 十月七八日頃入港なるべし

全あつたくお情なさけもの

中活斷算其の儘の
格闘を脱し五月十三
番地松竹商店裏門前を飛び
越むにする處に終つ捕られ
たる奥藏萬金を以て其の傍長
町奉行の殿前なる取調の結
果餘計を悉く

自由したるが國人は本年
五月頃より京城市内重なる家を
荒し廻り約二千圓の衣類を他を
窃取し其の金は殆んど即日彌生
町番屋の〇〇權抱へ贈進樂事立
野々村

先に異状なきを以て再考の
爲したる上二十六日午後
三時を解除し寒港船渠内
港より(公理)

又々列車投石三百二十
日本新聞社第二第三十三
日新聞社第二第三十三
車より投げ投石したるもの
何れ緩急電車一機を破損
するのみにして幸ひに他に何
れを害せしと目下探検中

豊澤龍糸の引込

色香に迷はつてさだまゐるた
ら由にて笑香が嘗て同遊郎朝日
棧に梅子と名乗りゐたる七八年

[illegible]

庭球界の人々

[illegible]

大の鐵山監督官より同
事官鐵山監督局長を
十二日六月、韓國政府の

助を受け渡り農工部鐵道
 長に任ぜられ次いで鐵道府
 上副長、全南長官、平南官
 等に歷仕し、國の興動と共に京
 師を知りて愛轉したのである

益壽延

全北の虎疫

人心恟々たり

前其他の詳

競馬大會中止

虎疫流行の

約十三萬圓の費用を投じて
 防疫の規程を以て競馬大會組
 織に著々準備中の處その後
 が虎疫甚だ猖獗し發生區域
 のみか限らず數日増加し是
 るを以て萬一を慮かたし是

村商店裏屋敷の扉を飛び
こする處を終に逮捕され


を獲て来たが車中へ煙草を喫つてはいけませんと重ねて注意をされ、吃驚して突然立ち上つて、なげに煙草を箱から捨てた。其の煙草の煙は、窓より煙草の箱が上つたの姿を、窓の外へ吐き出した。其の煙の姿は、煙草の箱が上つたの姿の影の如く、窓の外へ吐き出した。▲煙草の箱が上つたの姿の影の如く、窓の外へ吐き出した。▲煙草の箱が上つたの姿の影の如く、窓の外へ吐き出した。

香に迷ひつゝ迷ひたるは
て笑香が嘗て同遊廓朝日
子名乗りたる七八年


より
母
何人
各人
十
で
て
さ云ふので廿四日秋奉皇祭祭
當日なぞ散策の序に水源地参詣
を……願ひ出たものが幾干も
有つたけれども皆断つたに云ふ
ことだ▲明日は日曜、念の爲め

眼科專門
江頭眼科醫院
京坂明治町東柏電停（二〇四四番）
電話：日曜祭日午後 時迄 江頭富雄

皮より強い理想的の
專賣 柳織トランク
 其他旅行用具一切
 魔法瓶及中瓶取替
 京坂五軒電話町本城京
 高本旅行用具店

故李太王殿下御嘉納品

朝鮮人英三王
 上十斤入 一圓廿錢 特 廿五斤入 一圓五十錢
 製 四十斤入 二圓 廿五斤入 一圓五十錢
 四 四十斤入 二圓 廿五斤入 一圓五十錢
 本京通り城 京城日報社代理部
 振替京坂三〇〇番

京坂本町丁目十三（本年町入通）
 入院 隨 意
片山内科醫院
 片山 電話一九五二番
 請 夫

大なる
黒髪
 つややかな
 美髪になるには
 純良煉香油

ボマール
 大東京 平尾賛平商店

痔疾専門
 京坂明治町丁目（本町より入る中央）
京城久枝肛門病院
 電話：日曜祭日午後 時迄 江頭富雄

八番地店



伊達騒動

小倉井井洲講演

江戸から京へ
思ひ出し
石井井井洲が、東京に講演に来た。その講演は、江戸の歴史、文化、風俗、習慣、などについて、詳しく話した。聴衆は、大いに興味をもち、熱心に話を聞いた。講演は、午後七時から九時まで、大盛況で終わった。



初めに、江戸の歴史について話した。江戸は、室町時代から、徳川時代まで、長い歴史がある。その歴史は、江戸の文化、風俗、習慣、などに大きな影響を与えている。次に、江戸の文化について話した。江戸の文化は、浮世文化、町文化、などと呼ばれる。その文化は、江戸の風俗、習慣、などに大きな影響を与えている。最後に、江戸の風俗、習慣について話した。江戸の風俗、習慣は、江戸の文化、歴史、などに大きな影響を与えている。

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演
浪花館
大正館
合同大一行
本日ヨリ二日間
午後六時開演

美顔粉白粉

光榮ある美顔化粧料
三十三種の内
船来の上等製品と比べてみて

美顔粉白粉

日本醤油株式會社 京城出張所
電話長二四五番

男女生殖器病

田中丸病院
院長 田中丸治平
副院長 田中丸治平
電話 八八五番

債券

大連債券
電話 三〇〇番

(刊休無中)

か叩願おきねした。そして洋火まっちを摺すりて提灯ていとうに火ひを移うつした。

東京市京橋區三十四番地 (電話新橋三三三)
金剛山電氣鐵道株式會社創立事務所

命用御正

重子正印明也



超越次第
營業案內
時代進呈

新任の長二千石

亥角全南、縣田平南、時實
忠南、飯尾平北の批判記

一種銳

亥角全南知事

再々進

時實忠南知事

精勤家

時實忠南知事

優れた人

飯尾平北知事

新巡査

市内の傳染病

益蔓延

全北の虎疫

興味ある新婦人病

研究した獨逸醫學者の業績

彫刻物

素晴らしい

趣味ある唱歌會

今川園の催し

魔術團

觀客は大満足

運動界

優勝旗試合



造詣深

國際公法の

世界飛行競争

一周飛行競争

東京を起點とする

二百萬圓の懸賞

米國飛行俱樂部の計畫

緩衝機

柴崎校長へ

市内の傳染病

六百名を超す

益蔓延

全北の虎疫

興味ある新婦人病

研究した獨逸醫學者の業績

彫刻物

素晴らしい

趣味ある唱歌會

今川園の催し

魔術團

觀客は大満足

運動界

優勝旗試合

遺池洞の小火

二時三十分頃

井ノ口學博士曰く

簡井學博士曰く

最新刊

結婚期

大坂屋

タタリはらによし

拾て置かれぬ

身腹を害す程よくやせて

中肉堅體の美容姿となる

身腹を害す程よくやせて

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

急告

新に生れた

公盆

時季の告知

屋問卸

山崎屋

